

羽田空港の機能強化(国際線の増便)について

国土交通省は、首都圏の国際競争力の強化、訪日外国人旅行者の増加、国内各地への経済効果の波及を通じた地方活性化などの観点から、羽田空港のさらなる機能強化(国際線の増便)が必要と考え、その具体化に向けて、南風運用時の15:00~19:00に、着陸機が渋谷区上空を通過する飛行経路案を提案し、27年7月以降、住民説明会を開催してきました。渋谷区においても27年9月、28年1月の2回、渋谷ヒカリエで説明会が行われました。

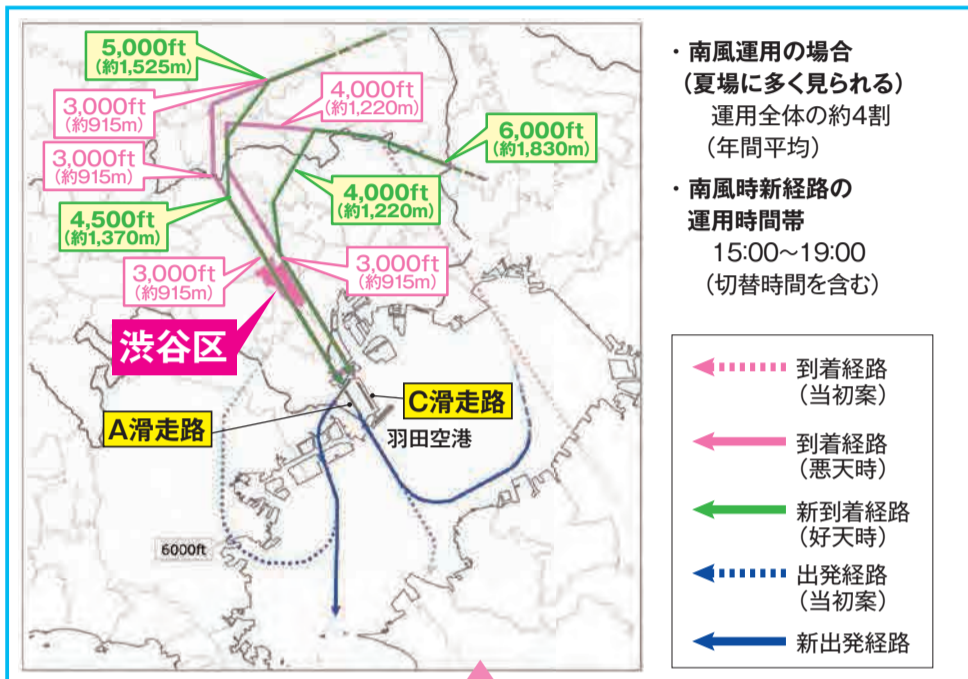
国土交通省は、説明会などで寄せられた住民の意見などを踏まえ、騒音などの環境や安全に配慮した方策を検討し、7月28日、「環境影響等に配慮した

方策」を策定しました。

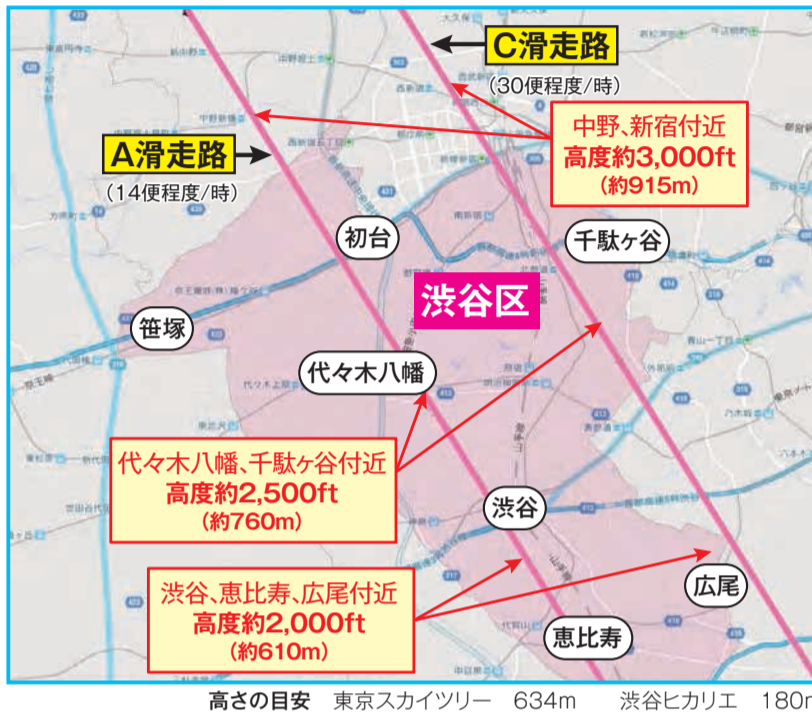
区としては、国土交通省が提案する羽田空港の機能強化、国際線の増便について必要性は認識するものの、区民が不安を感じている騒音の影響や、落下物などの安全対策について、区民への十分な周知と、理解を得るための丁寧な説明を国土交通省へ求めています。

現在、国土交通省が進めている羽田空港の機能強化、国際線の増便について、新たな飛行経路案、環境影響などに配慮した方策、今後の進め方などは以下のとおりです。

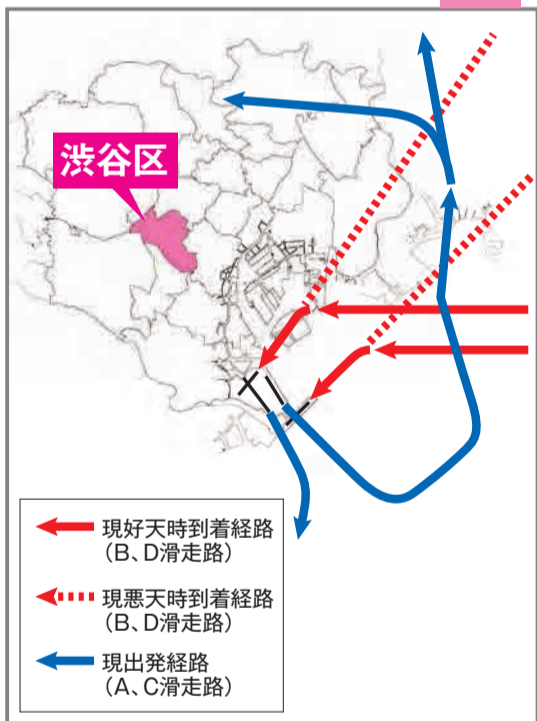
新たな飛行経路案(南風時)



新たな飛行経路案(渋谷区拡大図)



現行の飛行経路(南風時)



環境影響などに配慮した方策

- 騒音に配慮した低騒音機の導入
より静かな航空機の使用を促すため、航空機の重量と騒音の要素を組み合わせた料金体系への見直しを行う。
- 航空機の安全対策
航空機の安全な運航を確保するため、安全審査や抜き打ち監査などにより、引き続き安全確保を徹底する。
- 落下物対策
今後も点検・整備の徹底の指導を行い、部品の脱落防止、氷塊の防止など未然防止策を強化する。

騒音の影響

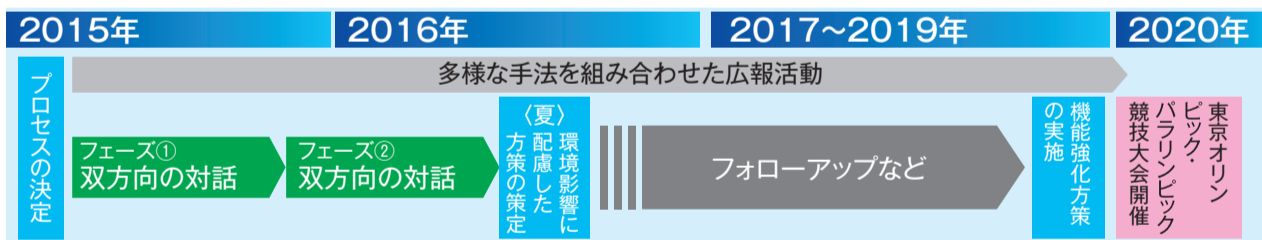
音の大きさ(瞬間最大値)

高度 約3,000ft(約915m) 新宿、中野付近	約63~70dB
高度 約2,500ft(約760m) 代々木八幡、千駄ヶ谷付近	約65~72dB
高度 約2,000ft(約610m) 渋谷、恵比寿、広尾付近	約68~74dB

音の大きさの目安

自動車	瞬間最大で約70~85dB程度
コンビニの店内	常時60dB程度
エアコン(室内)	常時50dB程度

今後の進め方



- フェーズ①[必要性や実現方策など]**
国際線増便の必要性や実現方策などについて情報を提供。皆様の声から課題を整理し共有します。
- フェーズ②[対策や運用方法など]**
環境対策、新飛行経路の運用方法など、皆様の意見を伺いながら、環境影響に配慮した方策を策定します。

※図は国土交通省の資料を基に区で作成 ※詳しくは、国土交通省特設HP「羽田空港のこれから」をご覧ください。

環境保全課環境計画推進係(☎3463-2749 ☎5458-4903)

国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口(☎0570-001-160、IP電話からは☎5908-2420)

ハチラボ講演会「ロボット時代の創造」

- ▶日時 10月23日(日) 13:30~15:00
- ▶場所 文化総合センター大和田4階さくらホール
- ▶講師 ロボットクリエイター 高橋智隆氏
- ▶対象 小学生以上の人※区内在住・在学の高校生以下を優先(小学生は保護者同伴) ▶定員 700人(抽選)
- ▶申込 10月5日(必着)までに往復ハガキ・ファクスで(代表者の住所、氏名、電話番号、全員の氏名、学校名・学年)、〒150-0042宇田川町5-2渋谷区役所神南分庁舎生涯学習振興課生涯学習係へ※1通につき5人まで、電子申請可
- ☎生涯学習振興課生涯学習係(☎3463-3049 ☎3463-3822)



9月はがん征圧月間 -日本人のためのがん予防法6項目

- 禁煙(受動喫煙にも注意)
 - 飲むなら節度のある飲酒
 - 食事は偏らずバランス良く
 - 日常生活を活動的に
 - 体重は適正範囲に
 - 肝炎ウイルス、ピロリ菌の検査を
- ☎地域保健課健康推進係(☎3463-2412 ☎5458-4978)